

2019年  
4月6日(土)  
9月29日(日)

狩野派・長谷川派・琳派など

# 金屏風展

これぞ黄金の国・日本

Japan: Country of Gold  
Screens of the Kanō, Hasegawa, Rinpa and Other Schools



開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※会期中休館日なし  
入館料：一般・大学生 2,800円(2,550円) 小中高生 1,800円(1,550円)

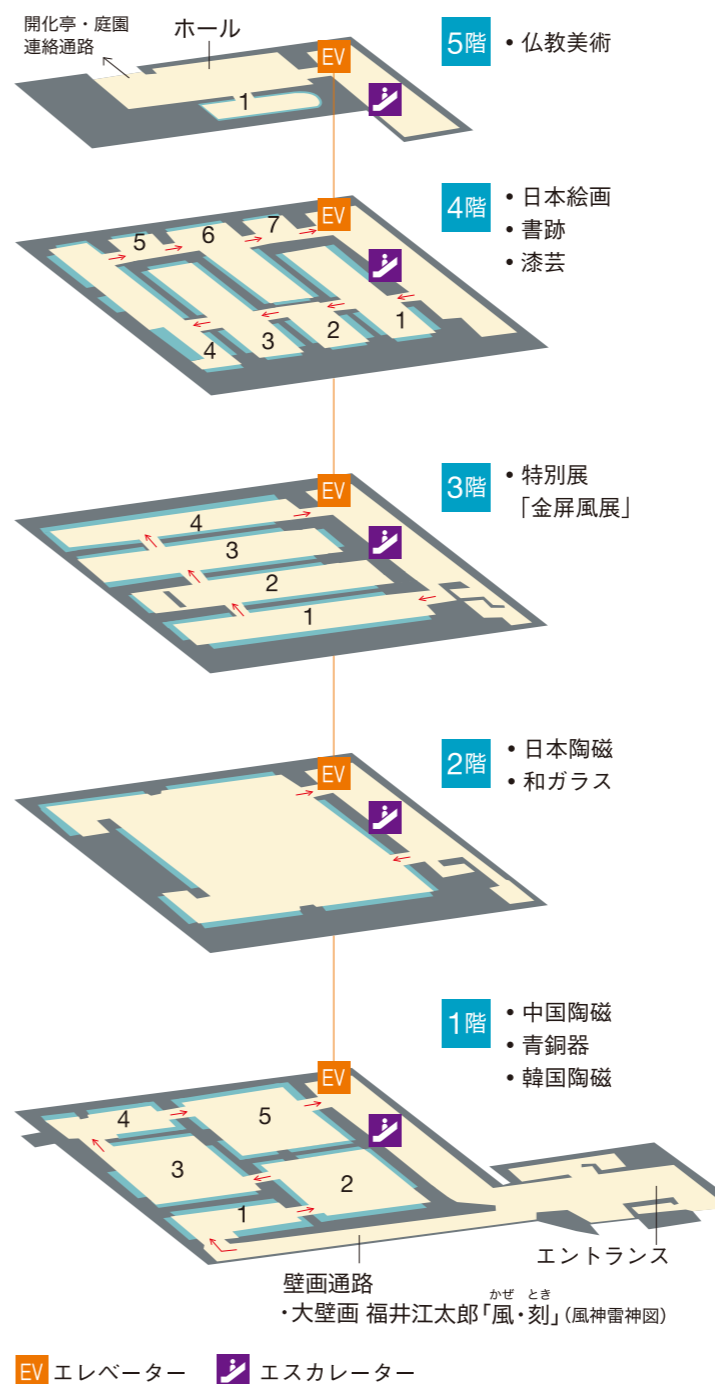
※( )内は前売り料金。前売券(JTBレジャーチケット、チケットぴあ)は主要コンビニエンスストア並びにチケットぴあにて販売  
※団体割引(10名以上)・障害者割引あり ※美術館ご利用の方は、駐車場・足湯入湯料無料

バス停「小涌園」より徒歩すぐ

**岡田美術館**  
OKADA MUSEUM OF ART

〒250-0406 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷 493-1  
TEL: 0460-87-3931 www.okada-museum.com

常設展示のご案内 岡田美術館は全5階、展示面積約5,000㎡の館内に、常時約450点の美術品を展示しています。



5階展示室  
重要文化財「木造薬師如来坐像」をはじめ、仏像や仏画、密教法具など祈りの世界をご覧ください。



4階展示室  
墨の濃淡が美しい水墨画、あでやかな美人画など、日本絵画を中心に書跡や漆芸を併せて展示いたします。



伊藤若冲 三十六歌仙図屏風(右隻) 江戸時代 寛政8年(1796)

2階展示室  
古九谷、鍋島といった肥前磁器や野々村仁清、尾形乾山の京焼など日本のやきものと、カラフルな和ガラスをご覧ください。

1階展示室  
中国の陶磁器と青銅器、韓国の陶磁器を展示。とりわけ古代から清朝までの歴代の中国陶磁が質・量ともに充実しています。



色絵筆硯文大皿  
有田・古九谷様式 江戸時代前期



青磁柑子口瓶 景德鎮窯  
中国・清時代 雍正年間(1723~35)

次回展予告 古代の工芸 - 日本と中国 - (仮) 2019年10月5日(土)~2020年3月29日(日) ※休館日 12月31日(火)・1月1日(水)

## アクセス

### 〈電車・バスをご利用の場合〉

- 新宿駅から 小田急線(特急ロマンスカー)■約90分→箱根湯本駅  
①伊豆箱根バス(のりば①)・箱根登山バス(のりば②)■約20分→小涌園  
②箱根登山鉄道 ■約35分→小涌園駅 伊豆箱根バス・箱根登山バス■約2分→小涌園
- 東京駅から 東海道新幹線(こだま) ■約35分→小田原駅  
伊豆箱根バス(のりば⑤)・箱根登山バス(のりば③)■約40分→小涌園
- 強羅駅から 施設めぐりバス ■約5分→小涌園

### 〈お車をご利用の場合〉

- 東名厚木IC▶小田原厚木道路▶箱根IC▶国道1号線【約60分】
  - 東名御殿場IC▶国道138号線▶宮ノ下▶国道1号線【約40分】
- ※所要時間は、交通状況によって大きく異なります。





これぞ黄金の国・日本

# 金屏風展

狩野派・長谷川派・琳派など

何枚かのパネルが連続し、折りたたむことのできる「屏風」は、中国で発祥して日本にもたらされ、独自の発達を遂げた調度品です。とりわけ、あでやかに彩り、輝く黄金で加飾した「金屏風」は、国内で幅広く使われただけでなく、アジアやヨーロッパの国王などに進物として贈られ、国際的に喜ばれた日本ならではの美術品でした。

本展では、岡田美術館の3階を会場とし、「日本美術の花」といえる金屏風によって全4室を埋め尽くします。金屏風に限定して構成する企画は、展覧会として初の試みといえるでしょう。展示されるのは、桃山時代から昭和初期にいたる、狩野派・長谷川派・琳派ほかの画家たちが手掛けた花鳥画・名所絵・物語絵・山水図など約30点です。照り輝く金地、画面を力強く流れる金雲、たな引く金霞など、金の表現方法は実に多様で、そこには金という素材に対する日本人の繊細な感性がうかがわれます。作品ごとに異なる金の使い方や、時代による変遷などに注目しながら、豪華絢爛な「黄金の空間」をお楽しみください。

\*会期中、一部展示替を行います。

## 講演会

### 「桃山の金屏風」

講師：小林 忠(岡田美術館 館長)  
日時：5月25日(土)  
午後1時～午後2時30分

### 「屏風を使う」

講師：榊原 悟氏  
(岡崎市美術館 館長)  
日時：6月22日(土)  
午後1時～午後2時30分

### 「琳派の金屏風」

講師：小林 忠(岡田美術館 館長)  
日時：7月13日(土)  
午後1時～午後2時30分

### ▼各イベントについて

会場：5階ホール  
定員：80名  
参加費：無料(要入館料)

### ▼各イベントの申込方法

電話にてお名前・人数・ご連絡先をお知らせください。定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。  
電話番号：046018713931

### ギャラリートーク

■館長によるギャラリートーク  
4月18日、5月16日、6月6日・20日  
7月4日・18日、8月1日・15日  
9月5日・19日  
いずれも木曜日 午後1時30分～

■学芸員によるギャラリートーク  
4月19日～9月20日  
毎週金曜日 午前11時～

### ▼参加方法

申込不要・参加無料(要入館料)

Japan: Country of Gold  
Screens of the Kanō, Hasegawa,  
Rimpa and Other Schools

「画中画」(絵の中の絵)にも注目!



↑ 部分図拡大



狩野派 春秋花鳥図屏風 桃山時代末期～江戸時代初期

金雲の中で遊んでいるのは孔雀の親子。

総金地に映える繊細な草花。紅葉は盛り上げ立体的に。



平家物語図屏風(右隻) 江戸時代前期

細密描写・極彩色の人々と金地・金雲の融合。



長谷川派 網代垣藤花・紅葉図屏風 桃山～江戸時代初期

幽玄にして豪華。光琳が描いた菊図の傑作。



尾形光琳 菊図屏風 江戸時代前期 【展示期間 7/5(金)～9/29(日)】



柳橋水車図屏風 江戸時代前期 【展示期間 4/6(土)～7/4(木)】

金屏風といえば柳橋水車。黄金の橋は浄土へ続く?